

<b>事業者名: 株式会社ジーライオン (健康づくりの宿 ブランナールみささ)</b>		
■本社所在地: 兵庫県中央区新港町11番1号 (鳥取県東伯郡三朝町三朝 388-1)	■TEL: 0858-43-2211	■MAIL: k.nishiyama@blancart.jp

## 取組テーマ: 皆様の健康寿命延長に特化した、「健康づくりの宿」を目指す。

### ■事業概要 (自社の技術・製品・サービスなど、主な事業について記載)

鳥取県で宿泊施設ブランナールみささを経営。三朝温泉の大きな強みである「ラドン温泉」を活かし、元岡山大学の山岡教授監修による「ラドン熱気浴」を2017年からオープン。ラドンの効能を40分という短い時間で取り入れる全く新しい「吸う温泉」として多くのお客様に利用して頂いている。

### ■2030年に目指す姿 (現状を起点とした目標設定ではなく、SDGs 実現に向けた自社のあるべき姿を検討し、記載)

- ①環境への配慮として、CO2を排出しない電力の検討、食品廃棄物の削減に努める。
- ②地域社会の連携として、地元の食材を使用した、当館でしか食べる事が出来ないメニュー開発。
- ③社会的責任として、働きやすい環境を整備、ハラスメント講習や従業員キャリアアップを支援。
- ④持続可能な旅行の推進として、エコツーリズムの促進、宿泊客に対してカーボンオフセットプランなど提供。
- ⑤教育と啓発として従業員やお客様にSDGsに関する情報提供やワークショップの開催を行う。

### ■SDGsの取組のPRポイント

当社のSDGsポイント

「自然と共に、未来をつくる。」

全館LED化を目指し、新電力のCO2フリー電力を使う事で環境配慮した電力を利用。



●LED化した宴会場

プラスチックアメニティは全てバイオマスに変更。お客様にアメニティを持参して頂く事をお願いし、持参されたお客様には200円の売店商品券をお渡しすることで使用量の削減に取組む。



▶  
バイオ  
マス  
アメ  
ニ  
ティ



◀  
ご持  
参の  
お客  
様に  
200  
円券  
にて  
返  
礼

### ■3側面の重点的取組

(重点的に取り組む項目を太字とし、現状と今後の目標・取組を記載)

社会		
認証申請した項目に○印	労働災害の防止	○
	<b>ハラスメントの防止</b>	○
	<b>女性の活躍</b>	○
	障がい者雇用	
	<b>多様な人材の活躍</b>	○
	多様な働き方の促進	○
	労働者の人権配慮	
	社会配慮商品・サービス	○
	<b>地産地消</b>	○
	<b>地域社会への貢献</b>	○
+		
経済		
認証申請した項目に○印	BCP策定	○
	セキュリティ対策	○
	<b>法令遵守の取組徹底</b>	○
	情報公開	○
	後継者の確保	
	市場変化への対応	○
	経営資源活用	○
	<b>デジタル化・生産性向上</b>	○
	雇用の維持・拡大	○
	<b>人材育成・能力開発</b>	○
+		
環境		
認証申請した項目に○印	自社の気候変動リスク	○
	社会変化の気候変動リスク	○
	<b>自社による環境への影響</b>	○
	燃料消費量の削減	○
	<b>電力消費量の削減</b>	○
	<b>再生可能エネルギー</b>	○
	<b>廃棄物の削減</b>	○
	水資源の適正な管理	○
	環境配慮型商品・サービス	
	環境面での社会貢献	
+		

当社が所属するGLIONgroup 全社でハラスメント防止について定期勉強会に全社員が参加し徹底した防止へ取組む。  
女性が多く、女性リーダー2名在籍、今後はさらなる管理職を増やしていく。外国人を積極的に雇用し宿泊業としての多様化にも力をいれていく。  
獣害対策として猪肉ジビエを使ったランチメニューも考案、宿泊の食事も全て鳥取県産100%の食材を使用し、地域に貢献に努めている。

全社にてコンプライアンスを徹底し、研修会を実施。人件費管理表を作成し、毎月人件費をコントロール、日報も毎日記載して頂きPDCAを記載する事で、日々の業務の中から課題を改善し、人材育成を強化し生産性向上を目指す。予約・宿泊システム「陣屋」を導入、デジタル化を進め電話予約を60%から40%に削減成功。今後は、自動精算機や自動チェックインシステム、自動清掃ロボットの導入などでさらなる生産性向上を目指す。

脱プラ推進の為、アメニティは全てバイオマスに変更。  
アメニティ使用量削減の為、持参された方へ200円の売店商品券を返礼としてお渡しする事で使用量削減実施。  
集客予測をAiで行う事で事前に食材仕入れを考え発注する事でロスを削減、余った野菜は漬物などに利用。  
4階の一部以外は全館LED化完了。  
電力はCO2フリーメニューによりCO2排出量0の電力を使用。

## ■トレードオフの分析

(上記重点的取組を推進した際に、トレードオフ(代償)としてどのような負の影響が生じるか、またそのことにどう対処していくか分析を記載)

従業員の効率化をすすめていく中で、自動精算機や掃除ロボットなどが今後必須となっていきが、温泉旅館は人と人とのふれあいが大事となる為、お客様とのコミュニケーション不足となり、満足の行くホスピタリティが得られない可能性がある。

その為、接客の内容、質を向上させ、短い時間でご満足の頂ける接客の為の教育を行っていく。

(様式第2号) とっとりSDGs企業認証 チェックシート [2024年3月改正版]

(企業名: 株式会社ジーライオン)

社会	8	○	
経済	9	○	(○となった取組項目数とその各側面の判定)
環境	8	○	
合計	25	○	(各側面で○となった取組項目数の合計と全体の判定)

番号	取組項目	必須	チェックリスト	チェック欄	判定	直近1年程度の具体的な取組 (更新申請においては、直近の認証期間中の具体的な取組)	2030年の目標	今後3年間の取組
社会1	<b>労働災害の防止</b>				○			
社会1			[KPI] 労働災害の年間発生件数	✓		0件	労働災害0件	労働災害0件
社会1			労働安全衛生に関して、経営層が専門家から指導・助言を受けている	✓		本社主催の勉強会にて専門の講師から、経営層（管理職）も含めた全社員向けの勉強会に参加し指導・助言を受けている。別紙①	労働災害0件を目指す。	[1年目] ・0件 [2年目] ・0件 [3年目] ・0件 毎年必ず安全衛生活動計画書を作成し、それに基づいて注意すべき項目を毎月指導、教育を行っていく事で、目標を達成する。
社会1			安全衛生委員会の設置など、社内体制を整備している	✓		50人未満なので設置はしていないが推進者は設置済		
社会1		★	安全対策のルールやマニュアルなどを整備している	✓		冬季通勤時の転倒防止のPOPを作成し張り出す事や調理場・レストラン・清掃時の転倒防止の為に濡れている所があればすぐに拭くなどのルールを統一している		
社会1		★	危険箇所・ヒヤリハットの情報収集、実態把握を行っている	✓		従業員からの報連相やお客様からのアンケートなどで情報を収集している。		
社会1			労災防止のための具体的な施設・設備の導入・改善を行っている	✓		冬季は除雪を徹底し路面凍結防止に努め、除雪機なども利用し安全に出勤出来る状況を作る。大浴場清掃時の転倒防止の為、ローラーブラシ機を導入		
社会1			労働安全衛生に関する研修を行っている	✓		毎月1回部門長会議の際に月間課題を説明し研修		
社会1			安全意識を醸成する外部の活動に参加している					
社会1			ISO45001などの労働安全衛生マネジメントシステム認証を取得している					
社会1			取引先において労災を誘発しないよう取引条件等に配慮している					
社会1			その他（※法令の規定への対応は対象外）					
社会2	<b>ハラスメントの防止</b>				○			
社会2			[KPI] ハラスメントの年間相談件数	✓		0件	0件	
社会2			ハラスメント防止に関して、経営層が専門家から指導・助言を受けている	✓		本社主催の勉強会にて専門の講師から経営層（管理職）も含めた全社員向けの勉強会に参加し指導・助言を受けている。別紙①	社内ハラスメント0件	[1年目] ・0件 [2年目] ・0件 [3年目] ・0件 ベテランの方、新人問わず従業員同士のハラスメントは絶対に対処は避けたい事なので指導、教育を随時行っていく。
社会2			ハラスメントを許さないことを経営トップがメッセージを発信している	✓		Glionアカデミーの中や、初年度の全体会議の中、毎週行う組織編成会議の中などでハラスメントに対してトップからのメッセージを都度発信。プランナーみささ全社員全員で共有し浸透を図っている。		
社会2		★	ハラスメントに関する相談窓口を設置するなど、相談体制を整備している	✓		本部への通報窓口がある		
社会2		★	相談者・行為者等のプライバシー保護のための措置を講じ、周知している	✓		本部通報窓口は人事課と秘書課のスタッフ以外は見る事が出来ず、通報は最終的にトップしか確認出来ない状況になっている		
社会2			ハラスメントを行った者に対する懲戒規程等を整備し、従業員に周知している	✓		就業規則にて明記		
社会2		★	アンケートや面談などにより、実態把握を行っている	✓		全社で1on1の管理シートに基づき、全社員対象に支配人が月に1度1on1を実施し、実態把握に努めている。		
社会2			ハラスメント防止に関する研修を行っている	✓		本部からの研修を受講している 別紙①		
社会2			社員同士以外のハラスメント（顧客、取引先、就活生等）の防止を図っている	✓		社員同士以外のハラスメントはすぐに支配人に通報し、対応をして頂くように周知し防止を図っている。		
社会2			その他（※法令の規定への対応は対象外）					
社会3	<b>女性の活躍</b>				○			
社会3		★	[KPI] 全従業員に対する女性従業員の割合	✓		56.4%（女性従業員数22人）	60%	
社会3		★	[KPI] 管理職に占める女性労働者の割合	✓		14.2%（女性管理職数1人/全管理職員数7人）	50%	
社会3			[KPI] 男性従業員賃金の平均額に対する女性従業員賃金の平均額の割合	✓		68%	100%	
社会3		★	[KPI] 男性従業員の育児休業等取得率	✓		0%	5%	
社会3			女性の活躍に関して、経営層が専門家から指導・助言を受けている					
社会3			女性の活躍について、会社の方針を表明している	✓		女性に限定せず、社員の活躍について、会社の方針を表明している。下記の通り。 GLIONグループ社はジーライオングループと全ての社員の成長を通じお客様への満足の提供を推進し会社の発展繁栄と全社員の幸福実現ため常に感謝の気持ちをもち豊かな環境づくりにまい進する。	女性の管理職を50%をめざし、教育を進めていく。	[1年目] ・女性が多いので管理者として活躍して頂く。 [2年目] ・女性の管理職割合を上げる為の教育を実施 [3年目] ・女性管理者の割合を上げる教育を実施
社会3		★	育児・介護に配慮した柔軟な勤務形態導入などの規程を整備している	✓		就業規則にて育児・介護休業や、子の介護休暇、介護休暇、の規定を設け、育児・介護の為の所定労働時間制限や深夜業の制限、場合によっては所定労働短縮措置等規定を整備している。		
社会3		★	自社の女性の活躍について、アンケート等により実態や課題を把握し分析している	✓		全社で1on1の管理シートに基づき、全社員対象に支配人が月に1度1on1を実施し、実態把握に努めている。		
社会3			必要な施設・設備の導入、改善を行っている					
社会3			女性のキャリアアップに向けた研修の実施や、外部研修への参加を推奨している	✓		女性に限定せず、Glionアカデミーなどキャリアアップに向けた研修を用意しており、多くの女性の方も参加している。		
社会3			県の輝く女性活躍パワーアップ企業、国のえるほし認定等に登録されている					
社会3			その他（※法令の規定への対応は対象外）					
社会4	<b>障がい者が働きやすい職場づくり</b>				-			
社会5	<b>多様な人材の活躍</b>				○			
社会5			[KPI] 中途採用比率	✓		100%	100%	95%
社会5			[KPI] 離職率または離職者数	✓		12人	10	10
社会5			[KPI] 外国籍の社員数	✓		3人	5	4
社会5			[KPI] 65歳以上の社員数	✓		13人	12	12

番号	取組項目	必須	チェックリスト	チェック欄	判定	直近1年程度の具体的な取組 (更新申請においては、直近の認証期間中の具体的な取組)	2030年の目標	今後3年間の取組
社会5			多様な人材の活躍に関して、経営層が専門家から指導・助言を受けている (※本項目では、女性、障がい者以外の人材を対象)				外国人5名採用 65歳以上の高齢者 12名採用	【1年目】 ・外国人雇用と雇用に関するスキルを上げる。 【2年目】 ・外国人雇用を増やし、高齢者の雇用も増やす 【3年目】 ・特定技能2号の受験をサポートし技能実習生の長期雇用化を図る。  高齢者を継続して雇用する事で課題などを改善し継続して雇用・採用が出来る環境を構築する。 外国人雇用の為、寮の整備を行い、3人は確保できるように行う。また、特定技能2号を取得する事で長期雇用が可能になるのでサポートを行う。
社会5		多様な人材(属性、キャリア・経験など)の活躍について、会社の方針を表明している (※本項目では、女性、障がい者以外の人材を対象)	✓		従業員・お客様・地域の皆様がWinWinとなる企業となる事を、素直で勉強好きな方を推奨することを表明している。			
社会5		★ 経営層は、多様な人材との対話や、課題の把握・解決を実践している	✓		海外にもグループ拠点はあり、多種多様な職種もある為、本部の人事担当者から各社への相談・ヒアリング等を行い、経営層へ話が行く事で各社人事担当者の対話を行い、問題解決を本部の人事担当者と一緒に考え解決をしている。			
社会5			✓		人事より同一労働同一賃金について研修等もあり、推進している			
社会5		★	非正規労働者の正規への転換など、非正規労働者の処遇改善を推進している	✓		キャリアアップ背景を推進しており、非正規労働者へ事前に正規雇用切替の話をし、キャリアアッププログラムを元に正規になる為の課題や研修を行い、正規へのサポートを行っている。		
社会5			高齢者の特性に応じた仕事内容の工夫や施設設備・設備導入を行っている	✓		2時間に15分の特別休憩をはさんで、熱中症対策として夏季はエアコンを付けたまま清掃を行う事、シフトも毎日入れないなど工夫を行い少しでも長く努めて頂く努力を行っている		
社会5		★	外国人労働者の受け入れに関する体制づくりを行っている	✓		ネパールの日本人学校と協力し、生徒の受け入れ先として当館が選ばれ、実際に採用もおこなっている。		
社会5			その他(※法令の規定への対応は対象外)					
社会6	多様な働き方の促進				○			
社会6			[KPI] ひと月あたりの労働者の平均残業時間	✓		5時間	1	3
社会6			[KPI] 年次有給休暇の取得率	✓		22%	30%	24%
社会6			多様な働き方に関して、経営層が専門家から指導・助言を受けている					
社会6			健康経営を経営方針として位置付けている					
社会6			管理職の人事評価に、部下の残業時間や有給休暇取得状況を関連付けている	✓		全社で残業0プロジェクトを推進し達成内容について人事評価なされている。	高稼働月がある為、完全に残業0時間は厳しいが、限りなく近づける為にも1時間以内を目標とする。 有給も低稼働月は取得を推進する。	【1年目】 ・自動精算機導入 【2年目】 ・ロボト導入 【3年目】 ・自動チェックイン導入  業務効率化、清掃ロボット、自動精算機、自動子エツクイン等の機械を導入する事で生産性を工場し、人員を削減しつつ高稼働でも残業を無くすシステムを構築する。
社会6			上記以外の休暇を取得しやすい独自の仕組みを設けている	✓		低稼働月は休館日を設けている		
社会6		★	フレックスタイムや在宅勤務、短時間勤務など柔軟な働き方に関する制度を設けている	✓		フレックスタイム制は就業規則に、会社が必要と認めるときには、労使協定を締結し、毎月1日を起算日とするフレックスタイム制を実施すること、毎月できると明記し、制度を設けている。		
社会6			従業員の副業を認めている	✓		旅館業は、シーズリタイアがあり、高稼働月、低稼働月がある為、低稼働月の収入が下がる事への対策として副業を認めている。		
社会6		★	従業員へのヒアリングなどにより、課題等の実態把握を行っている	✓		全社で1on1の管理シートに基づき、全社員対象に支配人が月に1度1on1を実施し、実態把握に努めている。		
社会6			その他(※法令の規定への対応は対象外)					
社会7	労働者への人権配慮				-			
社会8	社会配慮型商品・サービスの提供		※環境に関する内容は環境9に記載		○			
社会8			少数派や社会的弱者に配慮した商品・サービスの開発・提供を行っている	✓		近隣の公衆浴場閉鎖に伴い、三朝温泉の他の旅館では1500円前後の入浴料を取っているが、当館は、大人300円、子供150円という低価格で露天風呂を提供している。	露天風呂1000円で販売。誰もが気軽にランド温泉を入れるように。	【1年目】 ・露天風呂1000円で入浴できるが原価を見ながら検証 【2年目】 ・データを集める。 【3年目】 ・ジエランチを販売検討中 ・露天を1000円で販売
社会8			上記以外の社会課題解決型の商品・サービスの開発・提供を行っている	✓		ピーガン会席を販売・ジエランチを使ったランチも検討中		
社会8			商品・サービスの開発・提供にあたり、利用者の安全性に配慮している	✓		お客様には必ずアレルギーを確認し対応をしている。		
社会8			利用者からの意見・要望を取り入れるための窓口を設けている	✓		館内アンケートを実施(別紙②)の他、各国内旅行オンラインアンケートにて口コミを実施しお客様のお声をとり入れ改善を図っている		
社会9	地産地消				○			
社会9			[KPI] 県内事業者からの調達率	✓		100% (件数ベースor金額ベース)	100%	100%
社会9			地域産業の発展や地域の事業者との共存共栄を経営方針に位置付けている	✓		従業員・お客様・地域の皆様がWinWinとなる企業となる事を表明している。	物価上昇などで原価が圧迫されるが、あくまでも鳥取県産にこだわりたい。	【1年目】 ・100% 【2年目】 ・100% 【3年目】 ・100%
社会9			パートナーシップ構築宣言を行っている					
社会9			地元事業者から、積極的・優先的に仕入れている	✓		100%仕入れている		
社会9			地域資源・地元産品を活用した商品・サービスを開発・提供している	✓		地産地消を謳って商品を開発し100%県内産の食材を利用している。		
社会9			「食バラダイス鳥取県」アンパサダーに登録している	✓		鳥取和牛チャレンジなど協力するためにアンパサダーに登録している。		
社会9			その他					
社会10	地域社会への貢献		※ビジネスとしての活動は社会8、環境に関するものは環境10に記載		○			
社会10			地元自治会との交流イベント主催、防災訓練への参加など、地域活性化の取組を行っている	✓		当館目の前にあるキョー広場を利用する際に、当館駐車場解放し、水道の利用補助、トイレやロビーの利用補助などイベントがある毎に取組を行っている。また、夏祭りの花火大会も当館のスタッフが協力して花火を打ち上げている。	継続して地域のイベントに参画し、地域活性化の為に努める。	【1年目】 ・地域イベント参加 【2年目】 ・地域イベント参加 【3年目】 ・地域イベント参加 継続してイベントには参加を行っている。
社会10			地域の学校における社会教育活動に協力している	✓		三朝中学校の修学旅行先として利用して頂いているほか、小中学校の職場体験も受け入れている。		
社会10			地域の自治体や学校、福祉団体等への寄附や寄贈を行っている					
社会10			災害時等に、地域住民に対して物資や避難場所の提供等を行っている又は同様の取組に係る地域防災協定を締結している	✓		当館は三朝町指定の災害時の避難指定場所となっている為、実際の災害時の避難先として要望があれば対応を行っている。		
社会10		★	「あいサポート企業」登録など、障がいの有無に関わらず尊重しあう社会づくりに参画している	✓		障害者支援として、大浴場を利用できない障害者の宿泊の方へは無料で障害者風呂を提供している。また、障害者の方の宿泊予約時ある程度バリアフリー化している部屋の提供時の値段UPは行ってない。お部屋までの案内など可能な限りサポートを行っている。		
社会10			通勤、出張時の公共交通機関利用を促進するなど、地域交通機関の維持に貢献している			従業員に公共交通機関を進めてはいるが、運行時間が短いので殆どが車で来られる		
社会10			その他					
社会+	【項目名を記載】		※社会1～10に該当しない項目について記載(該当するものは対象外)		-			

番号	取組項目	必須	チェックリスト	チェック欄	判定	直近1年程度の具体的な取組 (更新申請においては、直近の認証期間中の具体的な取組)	2030年の目標	今後3年間の取組
経済1	事業継続計画（BCP）の策定		※自社自身の取組を記載（他者の支援は社会8または10で記載）		○			
経済1		★	BCPを策定している	✓	○	自然災害と感染症のBCPを策定している。 ①初動対応訓練（内容）安否確認、通報、消火・避難（時期）3月、10月（毎年）（担当）事務局（防火管理者） ②本部運営訓練（内容）状況付与演習、本部設置（時期）3月（毎年）（担当）事務局（防火管理者） ③従業員業務再開訓練（内容）ボイラー、大浴場、熱気浴室、厨房の復旧手順確認、客室状況（時期）10月（担当）管理清掃、客室清掃、調理 ④外部連絡訓練（内容）顧客・仕入れ先への連絡方法の確認（時期）10月（対象）総務・営業（担当）事務局 演習の実施 ・訓練計画を作成し、支配人に事前承認を受け、消防へ申請 ・訓練実施後はレビューを行い、改善点について確認。	BCPを継続、新入社員など入ってくるなど環境に応じ勉強会などを聞き周知を行う事で、実際の災害時に生きたBCPを活用出来る体制を維持し続ける	【1年目】 ・BCP見直し 【2年目】 ・BCP見直し 【3年目】 ・BCP見直し  BCPは環境に応じて変化していくもので、都度状況に応じて更新していく。
経済1			BCPに沿った訓練を実施し、有用性を検証している	✓				
経済1			策定したBCPや訓練の結果に基づき、仕組みづくり、設備導入等の対策を行っている	✓				
経済1			有用性を確保するため、定期的にBCPを見直している	✓				
経済1			サイバーセキュリティや新型コロナウイルスなど、新たな脅威を把握しリスクの分析を行っている	✓				
経済1			その他					
経済2	セキュリティ対策				○			
経済2			セキュリティについて、専門機関の診断・指導を受けている	✓		本社主催の勉強会にて専門の講師から、経営層（管理職）も含めた全社員向けの勉強会に参加をし指導・助言を受けている		【1年目】 ・セキュリティソフト導入 【2年目】 ・OSの更新 【3年目】 ・OSの更新 セキュリティに関しては、個人情報や機密情報に主なる為、徹底した管理を行っている。すべてのPCにアンチウイルス・不正アクセス制御のソフトを導入。 NASにもパスワードを設置し外部からの侵入が出来ないように設定
経済2			取引先や運送・清掃業者など、建物に出入りする者のセキュリティ上のルールを整備している	✓		防犯カメラのある入口以外からの搬入は禁止。搬入する際には必ずフロント、事務所のスタッフに声をかけてから入る事を徹底。玄関には2台防犯カメラを設置し、不審者の出入りを監視		
経済2		★	個人情報や機密情報の入手、利用、保管、提供、消去等の取扱ルールを設けている	✓		陣屋という宿泊予約管理ソフトを使い陣屋上では顧客の検索、予約等は可能だが、持ち出しは不可。ログインメンバーも5人までと制限しており、ログイン状態が確認できる。雇用の際に個人情報や機密情報漏洩をしない旨の誓約書を記載して頂いている。	お客様の情報や従業員の個人情報の漏洩0件	
経済2			情報セキュリティに関する管理者や専門部署を設置している	✓				
経済2			経営層や従業員に対して、専門家によるセキュリティ研修を行っている	✓		本社主催の勉強会にて専門の講師から経営層（管理職）も含めた全社員向けの勉強会に参加をし指導・助言を受けている。別紙①		
経済2		★	ウイルス対策ソフトの導入やOS等の定期的な更新している	✓		ウイルス対策のソフトを導入し、都度更新している。		
経済2			重要な情報については、アクセス制限を行っている	✓		従業員の個人情報、経理情報などは支配人が管理。個人情報は本部人事が、支配人以外アクセス不可。経理も本部経理と支配人以外閲覧も出来ない。		
経済2			ISMS認証やPマークなどを取得している					
経済2			その他、具体的なセキュリティ対策を実施している					
経済3	法令順守の取組の徹底（必須）				○			
経済3			コンプライアンスに関して、経営層が専門家から指導・助言を受けている	✓		本社主催の勉強会にて専門の講師から、経営層（管理職）も含めた全社員向けの勉強会に参加をし指導・助言を受けている		【1年目】 ・法令順守について学ぶ 【2年目】 ・法令順守について徹底 【3年目】 ・法令順守について徹底
経済3			経営トップが、法令順守することについて、社内外にメッセージを発信している	✓		毎週メールで全社員へ配信される組織再編会議の中で発信している。また、勉強会や期首の挨拶などでも表明		
経済3		★	自社事業に関わる法令を把握・社内共有し、遵守している	✓		ルールやコンプライアンス上での本部からの指示や、今後おきそうな案件など陣屋システム内のSNSを用い、全従業員向けに都度通達する事で共有し遵守している。	コンプライアンス違反が起きない会社、安心、安全な会社とする事を目標。	コンプライアンスに関しては都度教育する機会を設け、本部主催の勉強会に社員を参加させ、PAなど教育をさせる事で全社で徹底させていく。
経済3			コンプライアンス委員会の設置など、チェック体制を設けている	✓		本部の人事課にてコンプライアンス委員会を設けている		
経済3			公益通報制度（内部通報制度）を整備している	✓		本部への内部通報制度用の窓口が人事にある。		
経済3		★	コンプライアンスマニュアルなどの社内規定の作成し、社内に周知している	✓		タイムカード横に就業規則を添付し、社内規定も併せてあるので、誰もが確認できるように設置しそのことを周知している		
経済3			従業員に対するコンプライアンス研修を実施している	✓		本社主催の勉強会にて専門の講師から、経営層（管理職）も含めた全社員向けの勉強会に参加をし指導・助言を受けている。別紙①		
経済3			その他（※法令の規定への対応は対象外）					
経済4	情報公開				○			
経済4			地域住民に影響を及ぼす可能性のある事業活動について、関係自治体や地域住民への情報提供など、適切なコミュニケーションを行っている	✓		当館目の前のキヨロ広場利用の際には三朝町に申請書を提出し利用許可を得る事や、避難訓練なども消防署、地域の皆様に伝えるなど適切なコミュニケーションを行っている。	SNS総フォロワー数5000人	【1年目】 ・SNS800人 【2年目】 ・SNS3000人 【3年目】 ・SNS5000人 当館の情報はほぼHPに記載しており、5か国語に対応。多くのお客様に確認できるシステムを構築
経済4			就職を希望する者に対して、人事労務や就労実態等に関する情報提供を行っている	✓		ハローワークやインディードなど常に情報提供を行っている		
経済4			情報提供にあたっては、多様な利用者や利用環境（アクセシビリティ）に配慮した情報提供を行っている	✓		館内のチラシやPOP、新聞折り込みやチラシ、無料雑誌等に掲載を行い、WEB以外にも紙媒体での広告にも力を入れている		
経済4			消費者や取引先からの情報開示の問い合わせに対する対応方針を策定し、適切に対応している					
経済4			消費者や取引先に影響のある情報漏洩や品質問題などの公表基準を設け、適切に運用している					
経済4			会社としての公式ホームページやSNSを有し、定期的に情報発信している	✓		HP、SNSに力を入れて取り組んでいる。		
経済4			その他（※法令の規定への対応は対象外）					
経済5	後継者の確保				-			
経済6	市場変化を見据えた対応				○			
経済6			自社事業に影響を及ぼし得る、顧客のライフスタイル、価値観の変化を把握し、分析している	✓		周辺の業者様からのヒアリング、各国内オンラインエージェントからの宿泊レポート分析報告、地域の競合している温泉宿の予約状況と準備を分析するソフトを使用して状況を把握している。	市場変化に応じた対応をしないとお客様が来ないので、常にアンテナを貼って対応を行う。	【1年目】 ・状況把握し対応 【2年目】 状況把握し対応 【3年目】 ・状況把握し対応
経済6			今後見込まれる法令改正や規制緩和がもたらす自社事業への影響を把握し、分析している	✓		旅館業法改正に伴う内容について、周知を行い、それに合わせた対応を分析し、対応を各スタッフに伝えていく。		
経済6			上記変化を踏まえた自社の商品・サービス、事業領域の見直しを行っている	✓		令和5年12月から施工された新しい旅館業法改正により、宿泊拒否自由の追加に伴い、マニュアルを変更したり、差別防止のさらなる徹底として、盲導犬の同伴や、オスメイトの方の入浴のご理解を促すPOPを作成したりと柔軟に見直しをしている		

番号	取組項目	必須	チェックリスト	チェック欄	判定	直近1年程度の具体的な取組 (更新申請においては、直近の認証期間中の具体的な取組)	2030年の目標	今後3年間の取組
経済7	自社以外の経営資源活用		※グループ企業間での取組は対象外		○			
経済7			大学や試験研究機関などの有する専門性を活用している	✓		当館にある、ラドンを使った全く新しい吸い取り温泉、ラドン熱気浴の設計、効能や運営について元岡山大学の山岡教授に監修して頂いている。	三朝町内では交流が多いが鳥取県内だと1か所くらいなので、関係企業、業界団体のネットワークへの情報収集や情報交換を積極的に進めて、今年より5%以上業績向上を目指す。	【1年目】 ・三朝町内旅館との交流 【2年目】 ・他企業との連携強化 【3年目】 ・関連企業・異業種団体へのアプローチを行い情報交換など積極的に参加を行う ・グループ内で連携する事が多い。
経済7			技術・ノウハウ、知的財産等に関する他社との連携・オープンイノベーションに取り組んでいる	✓		三朝町内の旅館、鳥取県内の旅館、温泉組合との交流は行っている。		
経済7			副業・兼業などの外部専門人材や、土業等の専門家の知見を活用している					
経済7			自社の中核事業と非中核事業を見極め、戦略的に外部委託を行っている					
経済7			投資ファンドなどの外部資金を獲得している					
経済7			関係企業、業界団体のネットワークに参加し、情報収集や情報交換を行っている	✓		温泉組合主催の勉強会、会合、鳥取県が主催の勉強会、倉吉法人会が主催の会合などには必ず参加し情報共有を行っている。		
経済7			その他					
経済8	デジタル化による生産性向上				○			
経済8			[KPI] 労働生産性 (付加価値額÷従業員数)			161万円/人		
経済8			専門家から助言・指導を受けながら、経営層が主体となってデジタル化・DXを進めている					
経済8			デジタル化・DXに関する計画や方針を策定している	✓		今後自動精算機や自動チェックイン導入を検討する計画を立てている		
経済8			デジタル化を推進する専用の部署や人材など、体制づくりを行っている	✓		宿泊システム担当者設け、宿泊予約システムDX化は完了		
経済8		★	営業・仕入れ・販売、開発・製造管理など、個別業務のデジタル化を行っている	✓		陣屋という総合的な予約管理ソフトを導入しており、フロントはチェックイン、チェックアウト、予約システムと連携し自動予約取得などDX化を行い、レストランも会計や伝票入力も全て陣屋で管理、入力が可能、清掃もチェックアウトなど清掃の情報も陣屋で管理清掃チェックシートを完了しないと部屋が販売出来ない仕組みとなっており、個別業務のデジタル化が出来ている		【1年目】 ・観光プラットフォームの上位ソフトの購入 【2年目】 ・仕入れDX化 【3年目】 ・仕入れDX化 仕入れ先がDX化すれば仕入れ管理ソフト(インフォーマット)などを活用する事で、受発注、伝票処理や突き合わせ、棚卸などのDX化が可能
経済8			業務間のデータを連携し全社的なデジタル化による業務改革・DXを進めている	✓		陣屋という総合的な予約管理ソフトでは、業務間のデータを連携し、業務間の連絡も取れる内容となっている為、全社的にデジタル化による業務改革が出来ている。	仕入れ業者さんが地元の方が多くDXしてないので、DX化が追い付けばBtoB用の仕入れ管理ソフト(インフォーマット)の導入を全企業様に導入をして頂くこと。	
経済8			顧客・取引先との接点業務など各種業務におけるデジタル技術の活用状況を分析し、運用改善を行っている	✓		観光予約プラットフォームを用いて三朝温泉旅館の予約状況をAIが集約し半年後、1か月後の予約状況を作成、それを分析しながら休館日設定や宿泊予約の予測のエビデンスとして使用する。 レベニューマネージメントのソフトで、競合他社の予約状況や部屋プランの金額などをしらべ、それに応じた当館の販売数や単価をコントロールする事で適正価格で販売が可能		
経済8			新たな価値や顧客創出に向け、AI、ビッグデータ等を活用している	✓		当館は温泉旅館だが、旅行だけでなく、ラドン温泉を利用した健康に特化した宿として販売をしている事から、国内旅行オンラインエージェントのデータやAI分析、観光予測プラットフォームもAIを利用したデータを用いる事で、健康に意識の高いターゲットや新たな年齢層など価値や顧客創出に向け活用している。		
経済8			その他					
経済9	雇用の維持・拡大		※採用活動そのものは対象外		○			
経済9		★	[KPI] 従業員数	✓		39人	40人	40人
経済9			採用後にミスマッチが起きないよう、インターンシップや内定後のフォローアップなどを行っている	✓		面接は必ず2次面接まで行い、説明はしっかりと行う。		【1年目】 ・タイムの活用 【2年目】 ・人材確保と育成 【3年目】 ・高校生の採用を強化
経済9			会社の成長・発展に向けた事業転換や経営の多角化、設備投資を行っている					
経済9			新規出店や商圏拡大、M&Aなどの事業拡大に取り組んでいる			2023年で2社M&Aでグループイン現在120社 フランチールみささではなし		
経済9			事業転換や多角化、商圏拡大などの方針を踏まえた人材のスキル転換、処遇改善、採用活動を行っている	✓		2023年で2社M&Aでグループイン現在120社 フランチールみささでも、年2回の面談を通じ、適正部署へ配置転換など個人の意向や能力に沿った業務を行って頂いている	社員12名PA28名 残りは期間労働者で高稼働を乗り切る。	余り人材が増えなくても人件費を圧迫し、低稼働月にシフトを入れられなくなり離職につながる為、社員を12名PAさん28名にし、あとはタイムーなど短時間枠にて調整を行い無駄な人件費を使わないようにする。
経済9			人材確保のため、物価上昇率なども勘案し、賃上げ(ベースアップ)を行っている	✓		年に2回、3月と9月に給与面談を行い、9月に途中進捗を確認、3月期末に前年3月に掲げた目標の結果報告と来年の目標を確認。結果に応じた評価を行っている。 1on1を実践し、業務内容についての不満や悩み事を業務と関係ない場所で親身になり確認を行い、それに合わせて助言や改善を行い、離職者を防ぐ努力をしている		
経済9			離職防止、ES向上に向けた取組を行っている	✓				
経済9			その他					
経済10	人材育成・能力開発				○			
経済10			経営層間と下、従業員の能力向上に向け、一定の予算を確保し、人材育成に取り組む方針を示している	✓		本部が示すコスト意識、即実行、感謝の心を伝える、WinWinWINといった人材育成方針のもと、接遇向上や効果的な営業の方法などの様々な研修プログラムが受講可能 各部門の業務について、接遇、調理技術、おもてなし等各部署に応じた習熟度等の4段階のスキルマップを作成し、稼働の低い月や休館日などの機会を活用して見直しや更新を検討しながら運用している		【1年目】 ・OJT教育強化 【2年目】 ・本部研修参加 【3年目】 ・取得費用獲得
経済10			業務に必要なスキルマップを作成・更新している	✓				
経済10			従業員のスキルを定期的に把握し、能力開発計画を策定・更新している	✓		「各部署特有の技術向上に必要な接遇や調理技術等の能力開発に向けたスキルアップ計画を策定・運用している」	各部署全員でマルチタスクを図る事で少ない人材で効率化を行い、低稼働時の人件費を10%以上削減を目指す。	本部主催の研修に参加しつつ、当館でも勉強会を随時開催しブラッシュアップを図る。
経済10			外部研修への参加やeラーニングの活用を奨励し、積極的に受講させている	✓		フロント、レストランであれば接遇強化のyoutube講座などを視聴しながら説明、実践を行う勉強会などを開催している		
経済10			OJTの質の向上に向けた業務内容のマニュアル化やマニュアルの見直し、トレーナー教育を行っている	✓		OJTは教える事で質の向上が図れるので、上記の勉強会などで学んだ事を実際に新人研修などで教え、新人からヒアリングを行い、理解度などを確認し、理解度が低ければ言い方を伝えるなどブラッシュアップを図っていく。		
経済10			ジョブローテーションにより、計画的に従業員のスキルアップ・多能工化を図っている	✓		フロントの稼働が落ち着いている時間にレストランへ応援へ行くなどマルチタスクを強化、その際事前に研修などを行う事でスキルアップを図る事を実施、他の部署でも同様に検討中		
経済10			能力の向上を人事評価や処遇に反映させる仕組みを設けている	✓		年に2回の給与面談にて取組内容に応じて査定		
経済10			従業員の資格取得を推奨し、要する費用を支援している			費用の支援は検討中		
経済10			その他					
経済+	【項目名を記載】		※経済1～10に該当しない項目について記載(該当するものは対象外)		-			

番号	取組項目	必須	チェックリスト	チェック欄	判定	直近1年程度の具体的な取組 (更新申請においては、直近の認証期間中の具体的な取組)	2030年の目標	今後3年間の取組
環境1	自然環境の変化が経営にもたらす影響		【気候変動リスク・機会の分析・対策①】		○	分析・検討内容を記載		
環境1		★	リスクを特定している（気候変動による災害リスクの主なもの 急性リスク：洪水、台風、自然火災等／慢性リスク：海面上昇、高温、水不足等）	✓		BCPを策定し、地震、火災、豪雪、水害についてリスクを特定している	自然災害は都度変化するので、BCPも状況に合わせて更新し、急な環境の変化があっても経営にもたらす影響を最小化に出来る企業を目指す。	【1年目】 ・BCP更新 【2年目】 ・BCP更新 【3年目】 ・BCP更新
環境1		★	上記リスクの自社への影響を分析している（特定したリスクそれぞれについて記載）	✓	BCPIにて、各自然災害の脅威の評価を5段階にて分析している。			
環境1		★	上記リスクについて優先順位（発生頻度×影響の重大性）をつけている	✓	上記の5段階の要素から当社への影響度を損害規模、回復期間、発生確率をまとめて評価を行い評価点に応じた優先順位を付けている			
環境1			上記リスクへの対策を進めている	✓	BCPIにて非常時対応計画書を作成、各自然災害事に対応した対応計画への対策を進めている。 中長期、短期の天気予報や台風情報などを活用し、豪雪や台風が直撃など予測される場合は休館を行う、除雪機の準備を行い従業員、お客様が当館から出入り出来ない状況を防ぐなど対応を行っている。			
環境2	社会・制度の変化が経営にもたらす影響		【気候変動リスク・機会の分析・対策②】		○	分析・検討内容を記載		
環境2		★	リスクを特定している（気候変動による社会・制度に関する4種類のリスク：政策・法規制、技術、市場、評判）	✓		リスクを特定している。内容は下記の通り	社会・制度の変化による機会について、2030年以降も継続していける構造を構築する。	【1年目】 ・現状分析 【2年目】 ・リスクへの対策 【3年目】 ・リスクへの対策と、社会・制度変化にも対応出来る営業内容の構築・会社の構造改革。
環境2		★	上記リスクの自社への影響を分析している（特定したリスクそれぞれについて記載）	✓	政策・法規制は①炭素税導入によるコスト増②再エネ・省エネ拡大への政策によるエネルギーコスト増③CO2排出量の少ない宿泊機関の利用を求める規制の実施 技術は①環境配慮型サービスの需要増②温暖化による温シーズン期間の長期化 市場は①天候の影響を受けにくい駅と直結した店舗などの進出による集客減 評判は、館内アンケート、各OTAの口コミを実施し評判を確認			
環境2		★	上記リスクについて優先順位（発生頻度×影響の重大性）をつけている	✓	優先順位を付けている。 ①政策・法規制（コンプライアンス的に必ず実施を行う項目がある為） ②評判（お客様の口コミの早期改善を行わないと損失が広がる為） ③市場（市場の影響は売上に直結する為） ④技術（すぐに取り組める内容ではない為）			
環境2			上記リスクへの対策を進めている	✓	政策・法規制は①②店舗や施設の省エネ設備・機器の導入など省エネ対策の強化③CO2の排出量が少ないツアーを作成・販売 技術は①上記と同じで、CO2の排出量が少ないツアーの作成・販売とリポートの新しい楽しみ方の提案や商品開発。 市場は①ホテルまでの移動の利便性、快適性向上、三朝温泉でしか体験できない、食べる事が出来ないプランの作成・販売 評判は、お客様のご意見を真摯に受け止め改善を行う			
環境2			社会・制度の変化による機会について分析している	✓	分析しており、結果として、上記により、Co2排出が少ないツアーの作成・販売が必要なこと、季節により集客が影響されない商品、健康に特化した商品を開発し周知を行う。			
環境3	自社の事業活動が引き起こす影響		【環境負荷リスクの分析・対策】		○	分析・検討内容を記載		
環境3		★	自社の事業活動（原材料・エネルギーの調達、生産、販売、使用、物流等）が環境に与える負荷（CO2や廃棄物、化学物質等の排出、大気汚染や生物多様性、海や森林にどう影響するか）について、分析している	✓		ジャーイオングループ全体で脱炭素に取り組みしており、脱炭素表を作成し、当館から排出されるCo2や廃棄物に関して一覧表を作成し、どのくらい排出され、それをどのように削減するのか等分析をしている。	2030年度まで、年間330tの脱炭素を達成できる構造を構築する。	【1年目】 ・エコプラン継続、食材廃棄前年より5%軽減 【2年目】 ・エコプラン継続、食材廃棄前年より5%軽減 【3年目】 ・エコプラン継続、食材廃棄前年より5%軽減
環境3			自社の製品・サービスが利用され、最終的に廃棄されることで環境に与える負荷について、分析している	✓	ほぼ食材としての廃棄が多く、環境に与える負荷について分析している。			
環境3			自社の事業活動が環境負荷の軽減に貢献する機会について分析している	✓	食材廃棄や客室からのゴミなどの軽減を行う事で環境負荷軽減に貢献する機会について分析し、対応している			
環境4	燃料消費量の可視化と削減 (Scope1)		【カーボンニュートラル①<省エネ>】		○			
環境4		★	【KPI】 Scope1のCO2排出量	✓		150t-CO2	140t-co2	150t-co2
環境4			専門家による省エネ診断を実施し、削減に向けた助言・指導を受けている	✓				
環境4			省エネ設備（高効率ボイラ等）の導入・更新を行っている	✓		ボイラは（パティコンヒーターという真空式温水発生器のボイラを使用、真空方式による熱伝導率の向上により、大幅な費用削減と常用運転時の効率UPを実現。マイコン制御によりさらなる省エネルギーを達成したボイラを利用 低Nox使用で60ppm以下を達成。地球に優しい低公害使用となっている。	熱気浴ボイラの利用時間をこまめに調整	【1年目】 ・ボイラの調整 ・露天ボイラの使用減 【2年目】 ・ボイラの調整 ・露天ボイラの使用減 【3年目】 ・ボイラの調整 ・露天ボイラの使用減
環境4			EMS（エネルギーマネジメントシステム）を導入し、エネルギーの使用状況を可視化やエネルギー運用の効率化を行っている	✓			露天風呂のボイラを極力使用せず町配湯を使い温度調整を行う。	
環境4			CO2総排出量削減のため燃料を電気や都市ガスへ切り替えている	✓				
環境4			燃料消費量低減につながる設備等の運転を行っている	✓		ボイラで昇温した湯の量を館内に配湯する際に配湯量を絞る事で燃料消費量を削減している。また、冬場は町配湯を入れる事で源泉の温度を昇温する事で、ボイラの重油利用量を減らす努力をしている。		
環境4			その他					
環境5	電力消費量の可視化と削減 (Scope2)		【カーボンニュートラル②<省エネ>】		○			
環境5		★	【KPI】 Scope2のCO2排出量	✓		223t-CO2	0t-co2	0t-co2
環境5			専門家による省エネ診断を実施し、削減に向けた助言・指導を受けている	✓		省エネ診断を行い、4階LED化に関して助言を受けた		【1年目】
環境5			省エネ設備（LED照明、高効率空調等）の導入・更新を行っている	✓		4階以外全館LED化、空調省エネ商材を利用し電力量削減	日本テクノのエコプランにより、CO2排出をしない電気に変更を継続しつつ、全従業員が率先して	・日本テクノに切り替え 空調に省エネ商材利用 【2年目】 ・パブリックスペースの電球を間引き 【3年目】 ・4階をLED化へ
環境5			EMS（エネルギーマネジメントシステム）を導入し、エネルギーの使用状況を可視化やエネルギー運用の効率化を行っている	✓		デマンド削減について30分毎デマンドを監視できるEMSを導入し、デマンド管理を徹底している		
環境5			省エネに対応した建物改修を行っている	✓		鉄筋コンクリート製なので温度変化に強い		
環境5			節電マニュアルを作成し実践している	✓		清掃時、客室に入ったらずいスイッチを入れ、出たらスイッチを切るなど節電マニュアルを各部署で設け実施している。	節電に取り組み環境を構築する	
環境5			その他					

番号	取組項目	必須	チェックリスト	チェック欄	判定	直近1年程度の具体的な取組 (更新申請においては、直近の認証期間中の具体的な取組)	2030年の目標	今後3年間の取組
環境6	再生可能エネルギーの導入		【カーボンニュートラル③<創エネ>】		○			
環境6		★	[KPI] 全使用電力に占める再生電力の割合	✓		100%	100%	100%
環境6			再生設備を設置し、発電した電気や発生した熱を自家消費している（売電など他社へ供給している場合は環境9へ）					【1年目】 ・日本テクノ継続
環境6			グリーン電力証書の活用など、再生エネルギー由来の電力を調達している	✓		電力会社を日本テクノに変更、CO2エコプランに加入する事で電力消費分すべて再生エネルギー由来の電力（脱炭素の電力）を利用する事で、脱炭素に取り組んでいる	日本テクノのエコプランは非常にCO2削減に有効なので2030年度も継続する事を目標にする	【2年目】 ・日本テクノ継続 【3年目】 ・日本テクノ継続
環境6			その他					
環境7	廃棄物の削減		※自社自身の取組を記載（他者を促す内容は環境9で記載）		○			
環境7		★	[KPI] 総廃棄物発生量（※産業廃棄物だけでなく事業系一般廃棄物も含む）	✓		ゴミ袋60ℓ 3000枚 180 t	ゴミ袋60ℓ 2800枚 168 t	ゴミ袋60ℓ 3000枚
環境7			事業別、事業所別の廃棄物排出量について、インバクトの大きな内訳を把握・分析している	✓		ゴミ袋年間利用内訳として ①調理 1440枚 ②客室・レストラン 720枚づつ ③事務所他 120枚		【1年目】 ・従業員に指導・教育 【2年目】 ・従業員に指導・教育 【3年目】 ・ゴミの削減徹底
環境7			廃棄物削減についての計画を策定し、具体的な取組を行っている	✓		調理レストランでは食材廃棄の削減に向けて予約人数に応じた仕入れ量を策定し、無駄な仕入れの削減と、食材ロス防止の取組を進めている。また、料理制作時に余った野菜は漬物にしている。	ゴミ袋を極力限界まで利用する為に、ゴミを圧縮する、水分は極力切るなど ゴミ袋の年間使用量を現在より200枚削減を行う	ゴミ袋を1枚でも削減するために従業員へ徹底した指導・教育を行い、ゴミ袋の圧縮方法、水分を極力切って体積を減らしゴミを出すなどの徹底を行う。
環境7			フードバンクやフードドライブ、フードシェアリングなどにより食品廃棄物削減を推進している					
環境7			調達・設計・製造段階で、廃棄物をできるだけ出さないような対応を行っている	✓		お客様の人数を予約にて把握し仕入れをする事で調整		
環境7			製品・サービスの提供段階で、廃棄物をできるだけ出さないような対応を行っている	✓		食べ残しを減らす為、事前に少ない量のプラン、現代湯治プランと美味少量プランを作成している。		
環境7			廃棄物を資源として再利用することを事業実施上の仕組みとして取り入れている					
環境7			その他（※法令の規定への対応は対象外）					
環境8	水資源の適正な管理		※自社自身の取組を記載（他者を促す内容は環境9で記載）		○			
環境8		★	[KPI] 年間使用量	✓		8,299k ℓ	8000 k ℓ	
環境8			事業別、事業所別の使用量について、インバクトの大きな内訳を把握・分析している	✓		一番主に使用は大浴場、次に調理場、と把握している。		【1年目】 ・全館徹底した漏水検査
環境8			水使用量削減についての計画を策定し、具体的な取組を行っている	✓		急騰は圧を下げ出数を削減、シャワーも節水タイプに変更、カラは自動で停止に変更。	全館で節水に関して徹底するように教育、指導を行う。	【2年目】 ・教育・指導 【3年目】 ・教育・指導
環境8			水質汚濁防止法等に基づき、排水の水質等について、適正な管理・運用を行っている	✓		油分のある排水や床からの排水はすべて、排水ストラップという油分と水分を分別する装置を通す事で、毎日、残渣かごのゴミは捨てて、油はすくって回収し、排水の適切な管理を行っている。		
環境8			工場内等で水を循環利用するための施設を整備している	✓		大浴場の温泉水は循環ろ過システムを利用		
環境8			その他（※法令の規定への対応は対象外）					
環境9	環境配慮型商品・サービスの提供				-			
環境10	環境面での社会貢献		※ビジネスとしての活動は環境9に記載		-			
環境+	【項目名を記載】		※環境1～10に該当しない項目について記載（該当するものは対象外）		-			